

社会科学研究所報告

- I 社会科学研究所規則が制定され、1978年4月1日より発効することとなった。
- II 本年度は7回にわたる研究所セミナーを開催したが、特に11月4日 I C U祭参加研究・討論会を企画し、「異文化接触としての日本人の交渉行動」をテーマとして、I C U第一期生3人の方の報告（マネジメントガイド 288号に掲載）を中心に討論を行った。さらに1月19日第8期生和智一郎氏を報告者として同一テーマによる第二回セミナーを開催したが、このテーマは来年度以降本研究所の中心的研究課題として設定される予定である。
- III 刊行物「社会科学ジャーナル」16号。特集経済学。260ページ。巻頭には、故藤田若雄教授追悼として、氏原正治郎東大教授より特別寄稿をいただいた。
- IV N. A. バッシグ氏（フィリッピン大学）、C. ヴェネラシオン氏（フィリッピン大学）及びM. センブラノ氏（アテネオ大学）が日本国際交流基金により助手として、さらに渥美冷子氏（豪州グリフィス大学）が研究員として、研究活動のために本研究所に滞在された。
- V 本研究所研究員森山昭郎氏は、1979年4月1日をもって東京女子大学に転出することとなった。これに伴い来年度より和智綾子氏及び長尾悟氏が後任として承認された。